

Buddycom 機能
ユーザーガイド　v1.0.1
企業間通信編

SCIENCE ARTS

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

改訂履歴

日付	バージョン	内容
2026/5/12	1.0.0	初版
2026/6/9	1.0.1	企業間通信の設定画面の変更に対応

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

目次

1. 企業間通信について 4
1.1. はじめに 4
1.2. 設定の流れ 5
1.2.1. 事前準備 5
1.2.2. 企業間通信の設定（Buddycom 管理コンソール） 5
1.3. 企業間通信画面の見方 6
1.3.1. 使用できるテナント 6
1.3.2. 使用を許可するテナント 7
1.4. 使用上の注意事項 8
1.5. 使用上の制限事項 8
2. 企業間通信の設定 9
2.1. 企業間通信の管理者について 9
2.2. 企業間通信の追加（使用できるテナント） 10
2.3. 企業間通信の追加（使用を許可するテナント） 11
3. 連携したテナントのユーザーをグループに追加 12
3.1. 階層の権限の確認　―グループ―（使用できるテナント） 12
3.2. 階層の権限の確認　―ユーザー―（使用を許可するテナント） 13
3.3. グループに連携先のユーザーを追加する（使用するテナント） 14
3.4. ユーザーの使用状況の確認（使用を許可する） 15
4. 企業間通信の詳細設定 16
4.1. Buddycom コンソールでのトーク履歴参照を許可する（使用できるテナント） 16
4.2. Buddycom コンソールでの位置情報参照を許可する（使用できるテナント） 18
4.3. 企業間通信の管理者のアクセス権限確認を省略する（使用を許可するテナント） 20
4.4. 電話機能の利用を許可する（使用を許可するテナント） 22
5. 企業間通信の解除 24

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

5.1. 連携先の階層から権限を削除する（使用を許可するテナント）.....24
5.2. 企業間通信の連携を解除する（使用できるテナント）.....25
5.3. 企業間通信の連携を解除する（使用を許可するテナント）.....26
5.4. 企業間通信の連携を解除する（連携中の相手テナントが契約終了した場合）.....26

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

1. 企業間通信について

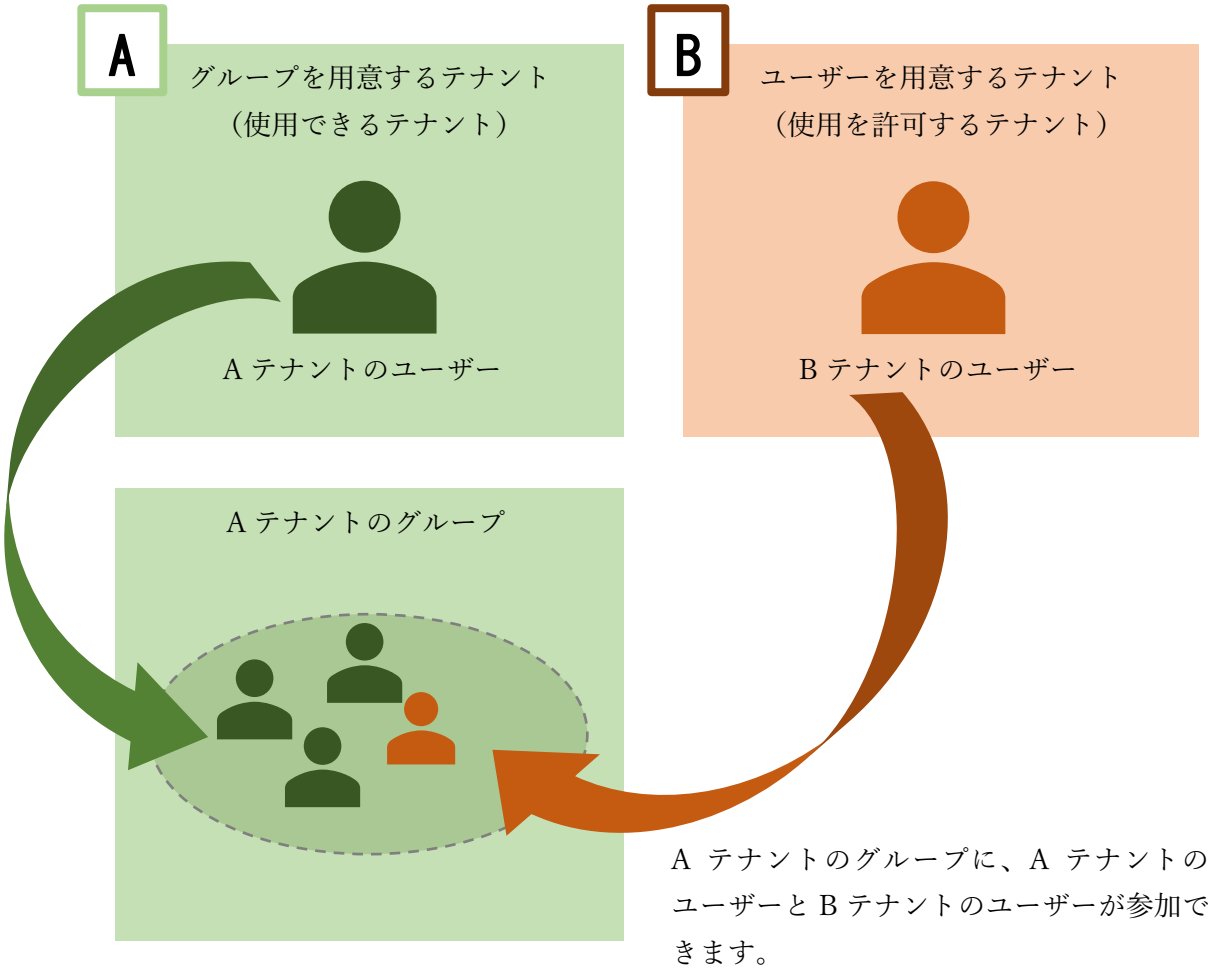
1.1. はじめに

この機能では、グループに他のテナントのユーザーを追加して通話に参加させることができます。

企業間通信では、テナントを以下のように区別して管理します。

テナントの種別	内容
使用できるテナント	グループを用意するテナント。作成したグループに、自テナントのユーザーと「使用を許可するテナント」のユーザーを参加させることができます。
使用を許可するテナント	ユーザーを用意するテナント。「使用できるテナント」のグループへ自テナントのユーザーの参加を許可できます。

※「使用を許可するテナント」では、ユーザーが参加するグループの一覧から、相手のテナントのグループを外すことはできません。



A テナントのグループに、A テナントのユーザーと B テナントのユーザーが参加できます。

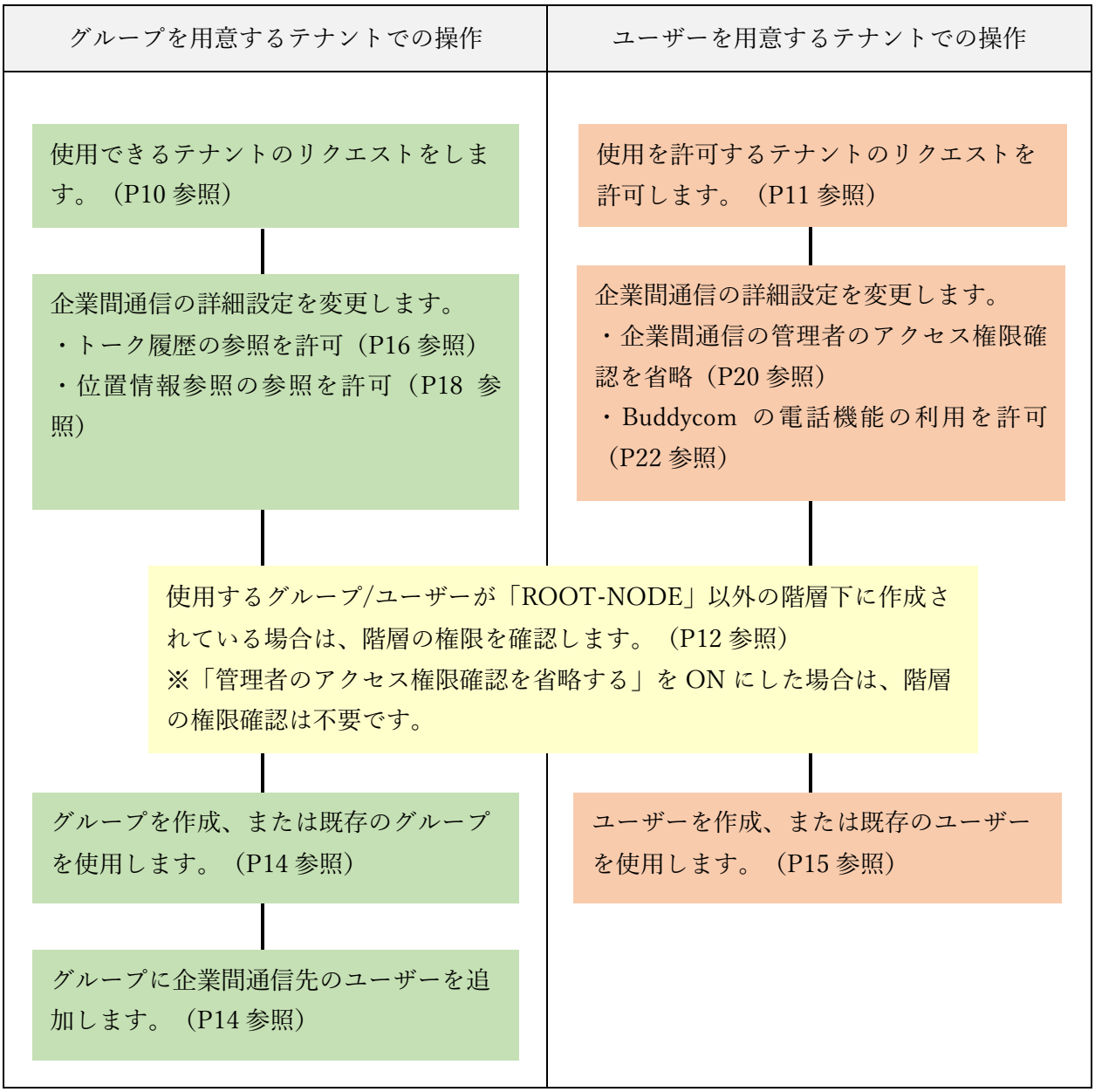
Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

1.2. 設定の流れ

1.2.1. 事前準備

・企業間通信で通話をするグループを用意するテナントを決めます。（P4 参照）
・企業間通信の設定を行う管理者ユーザーを決めます。（P9 参照）
・企業間通信の詳細設定について事前に相手テナントの管理者と十分にご確認ください。

1.2.2. 企業間通信の設定（Buddycom 管理コンソール）

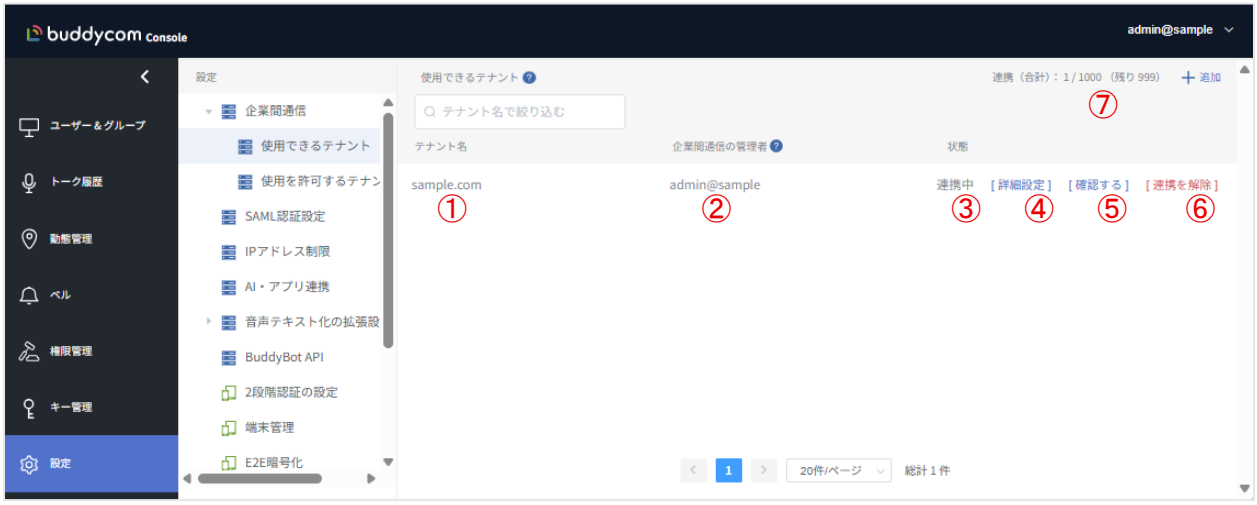


Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

1.3. 企業間通信画面の見方

企業間通信の設定値は、設定画面の「企業間通信」画面から確認ができます。

1.3.1. 使用できるテナント



① テナント名：表示されているテナントのユーザーを自テナントのグループに追加することができます。

② 企業間通信の管理者：企業間通信の設定、また、連携中のテナントのユーザーを自テナントのグループに追加する操作ができるユーザーです。

③ 状態：企業間通信の接続状態が表示されます。

④ 詳細設定：連携中のテナントの管理者がトーク履歴/位置情報の参照をする権限を許可するかを選択できます。

⑤ 連携・確認操作　（状態によって表示される操作コマンドが異なります）

状態	操作コマンド	動作
未連携(リクエスト送信済)	－	－
未連携(リクエスト受信済)	連携する	企業間連携を承認します
連携中	確認する	連携中のテナントのユーザー利用状況を確認します

⑥ 連携解除・削除操作

連携中のユーザーを利用している際は、利用設定の削除をしてから連携の解除を行います。

状態	操作コマンド	動作
未連携(リクエスト送信済)	削除する	リクエストを取り下げます
未連携(リクエスト受信済)	削除する	リクエストを拒否します
連携中	連携を解除	企業間連携を解除します

⑦ 連携数

現在テナントに企業間通信を設定しているテナント数です。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

1.3.2. 使用を許可するテナント



① テナント名：表示されているテナントは、グループに自テナントのユーザーを参加させることができます。

② 企業間通信の管理者：企業間通信の設定、また、連携中のテナントのグループに自テナントのユーザーを追加する操作を許可しているユーザーです。

③ 状態：企業間通信の接続状態が表示されます。

④ 詳細設定：連携中のテナントの管理者のアクセス権限確認の省略/ユーザーに登録している電話番号を連携先のグループで表示することを許可するかを選択できます。

⑤ 連携・確認操作　（状態によって表示される操作コマンドが異なります）

状態	操作コマンド	動作
未連携(リクエスト送信済)	－	－
未連携(リクエスト受信済)	連携する	企業間連携を承認します
連携中	確認する	連携中のテナントのユーザー利用状況を確認します

⑥ 連携解除・削除操作

連携中のテナントで、ユーザーが利用されている際は、連携の解除ができません。解除したいテナントの管理者ユーザーに連携の解除（グループからの削除）を依頼してください。

状態	操作コマンド	動作
未連携(リクエスト送信済)	削除する	リクエストを取り下げます
未連携(リクエスト受信済)	削除する	リクエストを拒否します
連携中	連携を解除	企業間連携を解除します

⑦ 連携数

現在テナントに企業間通信を設定しているテナント数です。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

1.4.　使用上の注意事項

・Buddycom アプリの CHAT 画面、および、Buddycom コンソールのトーク履歴画面の履歴は、ユーザー表示名で表示されるため、設定しているユーザー表示名によってはどちらのテナントのユーザーの発話履歴であるかが分からない可能性があります。
・各ユーザーは所属しているテナントのクライアント設定が適用されます。

1.5.　使用上の制限事項

企業間通信には、以下の制限があります。
【Buddycom コンソール上の制限】
・企業間通信は、最大 1,000 テナントまで設定できます。
「使用できるテナント」と「使用を許可するテナント」の、連携中のテナント数の合計で 1,000 件まで登録できます。
・他テナントのユーザーを CSV のインポートにて作成/編集/削除することはできません。
※他テナントのユーザーを CSV のインポートにてグループへの追加/削除することは可能です。
・他テナントのグループで発行された URL を利用してかんたんログインはできません。
・オプション設定をしているグループには、オプションが割り当てられたユーザーのみ追加することができます。例えば、音声テキスト化が有効になっているグループに対して、音声テキスト化が無効になっているユーザーの追加はできません。

【Buddycom アプリ上の制限】
・他テナントのユーザーと個別通話をすることはできません。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

2. 企業間通信の設定

2.1. 企業間通信の管理者について

企業間通信の設定を行ったユーザーが「企業間通信の管理者」となります。「企業間通信の管理者」のみが以下の設定ができます。

・企業間通信の接続と解除
・接続したテナントとの企業間通信の詳細設定の変更
・企業間通信で接続した他テナントのユーザーを自分のテナントのグループへの追加・削除

企業間通信の管理者(設定を行うユーザー）がテナント管理権限を持っていることを確認してください。



テナント管理権限を持っていない場合は、テナント管理者権限を持っているユーザーでBuddycom コンソールにログインし、画面右上の「権限を持つユーザーの編集」ボタンから対象のユーザーを追加してください。



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

2.2. 企業間通信の追加（使用できるテナント）

企業間通信の追加を行うと、接続先のテナントにリクエストを送信します。

「使用できるテナント」の「追加」ボタンをクリックします。



テナント名の入力画面に企業間通信を行うテナント名を入力し、保存します。

※テナント名はログイン ID の@以降です。(例：001@sample.com 赤字部分がテナント名です)

テナント名を追加後、状態が「未連携(リクエスト送信済)」となります。リクエストを送信したテナントの管理者にリクエストの承認を依頼してください。



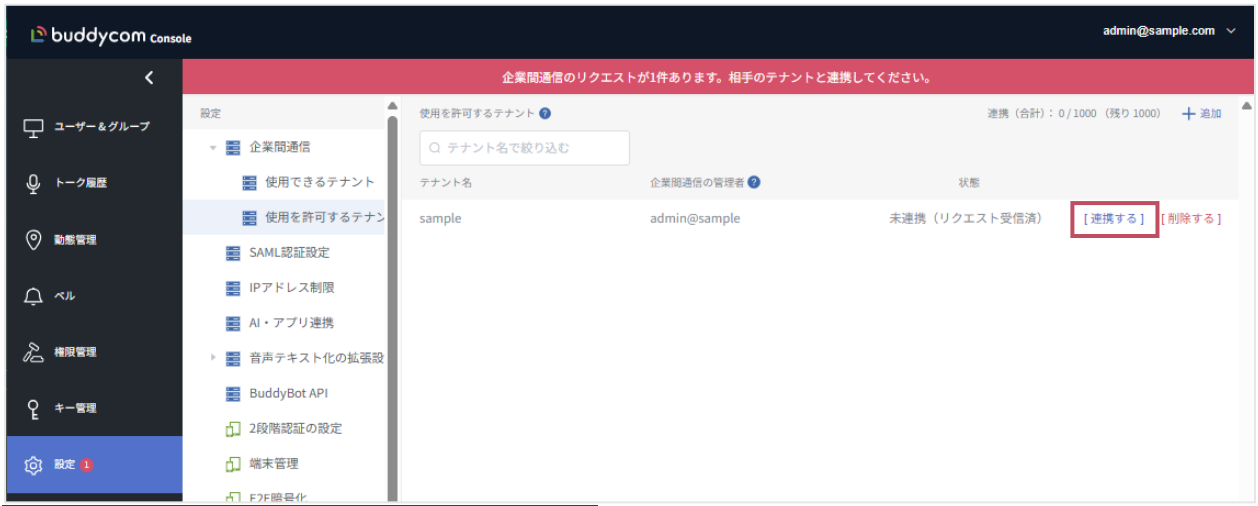


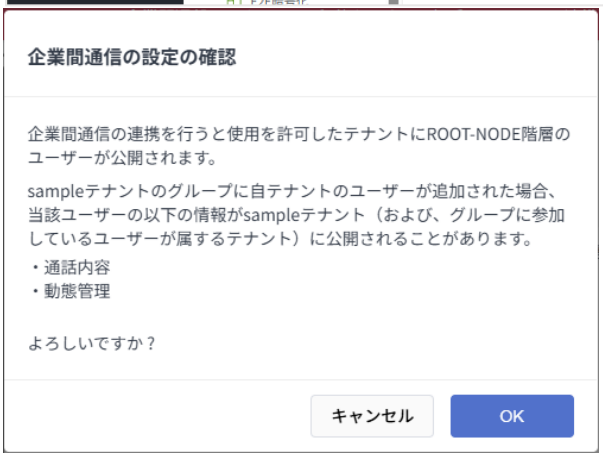
Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

2.3. 企業間通信の追加（使用を許可するテナント）

リクエストを受信したテナントの設定タブに通知が表示されます。

「連携する」をクリックすると、企業間通信の接続が完了します。





Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

3. 連携したテナントのユーザーをグループに追加

3.1. 階層の権限の確認　―グループ―（使用できるテナント）

企業間通信で接続した先のテナントを追加したいグループが所属している階層の編集権限を持っているかご確認ください。



持っていない場合は、階層の編集権限を持っているユーザーで Buddycom コンソールにログインし、「階層を編集できるユーザー」権限を設定してください。



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

3.2.　階層の権限の確認　―ユーザー―（使用を許可するテナント）

※企業間通信の管理者のアクセス権限確認を省略する（P20 参照）が有効な場合は、この作業は不要です。

企業間通信で接続をした先のテナントで、ユーザーをグループに追加する際には、ユーザーが所属している階層の「階層を企業間通信の設定で利用できるユーザー」権限を付与しているかをご確認ください。



付与していない場合は、階層を企業間通信の設定で利用できるユーザーの「オブジェクトを利用できるユーザーの追加」ボタンから、階層下のユーザーの利用を許可する管理者ユーザーを選択し、保存します。



Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

3.3.　グループに連携先のユーザーを追加する（使用するテナント）

企業間通信をした他テナントのユーザーを追加するグループをクリックし、「参加できるユーザー」タブの「ユーザーの追加」(「ユーザーの編集」)をクリックします。



連携したテナントのユーザーは、一覧の下部に表示されます。
グループに追加したいユーザーを選択し、保存します。



グループの作成、編集方法については、「Buddycom 管理コンソールユーザーガイド基本操作編」をご参照ください。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

3.4. ユーザーの使用状況の確認（使用を許可する）

企業間通信の設定画面で、連携中のテナントの「確認する」ボタンをクリックすることで、ユーザーの利用設定を行っているグループの一覧が表示されます。





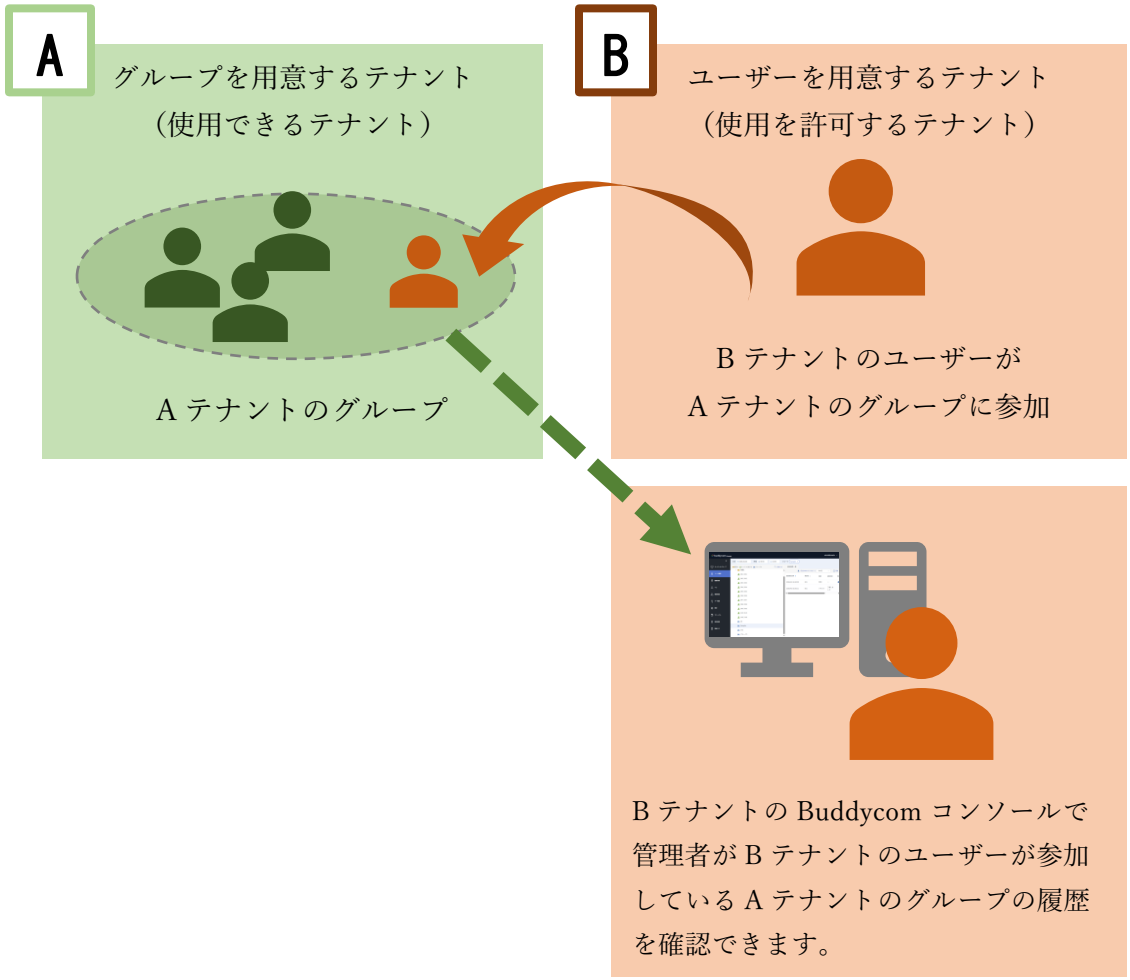
ユーザーの作成、編集方法については、「Buddycom 管理コンソールユーザーガイド基本操作編」をご参照ください。

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

4. 企業間通信の詳細設定

4.1. Buddycom コンソールでのトーク履歴参照を許可する（使用できるテナント）

「使用できるテナント」側でこの設定を許可すると、自分のテナントが所有しているグループのうち、相手テナントのユーザーが参加しているグループのトーク履歴を、相手テナント側の管理画面から確認できるようになります。



※「Buddycom コンソールのトーク履歴を許可する」の初期値は OFF です。

＜B テナントの管理者が確認できるグループの通話履歴＞

	B テナントのユーザーが参加している A テナントのグループの履歴	B テナントのユーザーが参加していない A テナントのグループの履歴
ON	参照できる	参照できない
OFF	参照できない	参照できない

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

＜注意事項＞

・連携先のテナントのグループの履歴は、非表示にできません。

※「使用を許可するテナント」側の Buddycom コンソールに表示された「使用できるテナント」側のグループの履歴を非表示にしたい場合は、「使用できるテナント」側の管理者に依頼をしてください。

・「使用できるテナント」側のテナントで、グループが Box / Drop Box 連携されている場合は、「使用を許可するテナント」側の Buddycom コンソールに履歴は表示されません。

＜設定方法＞

使用できる（A）テナント側の企業間通信の設定画面で、連携中のテナントの「詳細設定」ボタンをクリックし、テナントとの企業間通信の詳細設定画面で、「Buddycom コンソールのトーク履歴を許可する」のチェックをして保存すると有効になります。

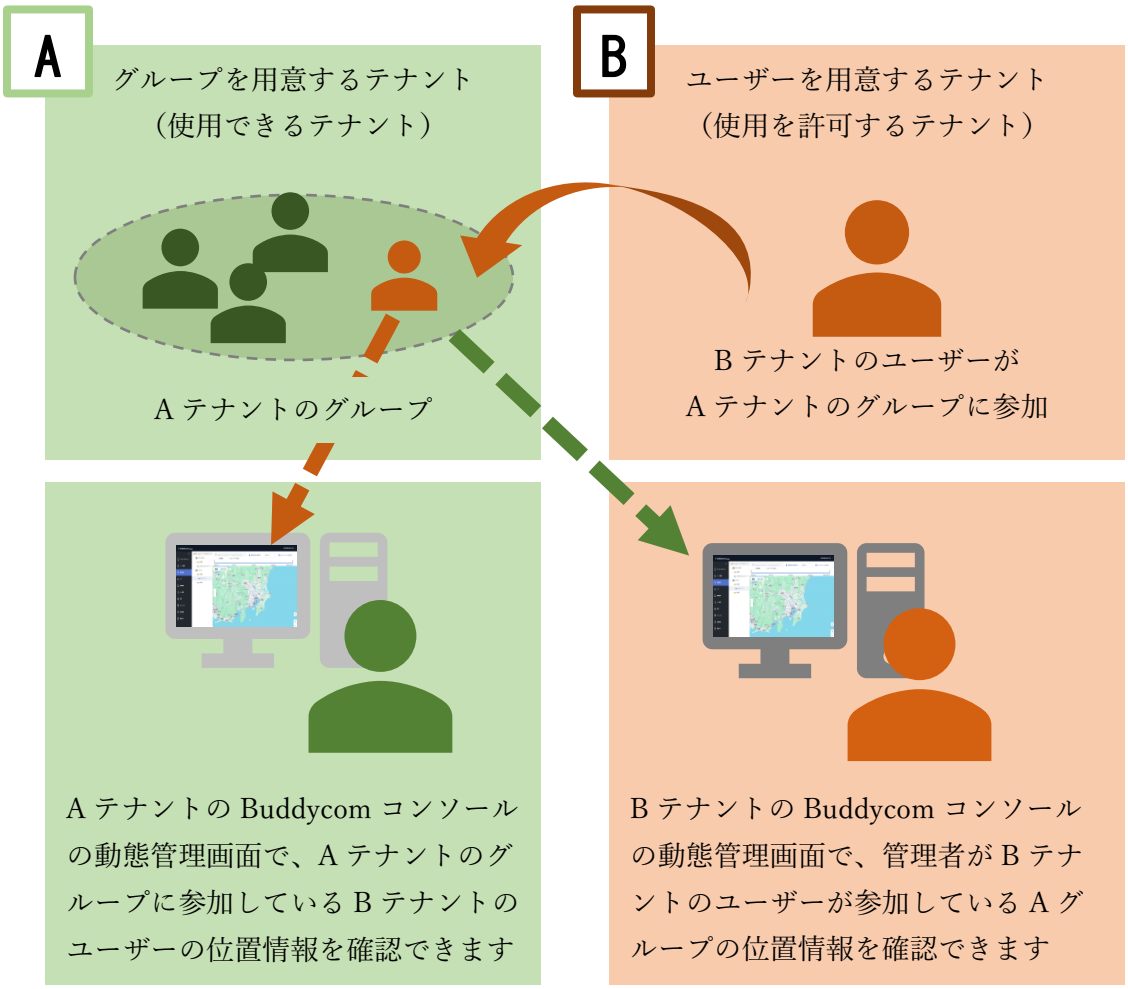




Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

4.2.　Buddycom コンソールでの位置情報参照を許可する（使用できるテナント）

使用できるテナント側でこの設定を許可すると、連携している相手テナントの管理者は、自テナントのユーザーが参加しているグループの位置情報を確認できます。



※「Buddycom コンソールでの位置情報参照を許可する」の初期値は OFF です。

＜各テナントの管理者が動態管理画面で確認できる位置情報＞

	A テナントの管理者		B テナントの管理者	
	A テナントのユーザーの位置情報	B テナントのユーザーの位置情報	A テナントのユーザーの位置情報	B テナントのユーザーの位置情報
ON	確認できる	確認できる	確認できる	確認できる
OFF	確認できる	確認できない	確認できない	確認できない

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

＜注意事項＞

・使用できるテナント（上図の A テナント）で本設定を許可すると、企業間通信のグループに参加しているすべてのテナントのユーザー（上図の A テナントのグループに参加している A テナントと B テナントのユーザー）の位置情報を、各テナントの Buddycom コンソールから確認できるようになります。ユーザーが参加しているすべてのテナントの管理者が、グループ内の全ユーザーの位置情報を確認できるようになるため、複数のテナントと企業間通信を行う場合は、事前に相手テナントの管理者と十分に確認・合意のうえで設定してください。

・動態管理画面に表示されている他のテナントのユーザーのアイコンは変更できません。

＜設定方法＞

使用できる（A）テナント側の企業間通信の設定画面で、連携中のテナントの「詳細設定」ボタンをクリックし、テナントとの企業間通信の詳細設定画面で、「Buddycom コンソールでの位置情報参照を許可する」のチェックをして保存すると有効になります。

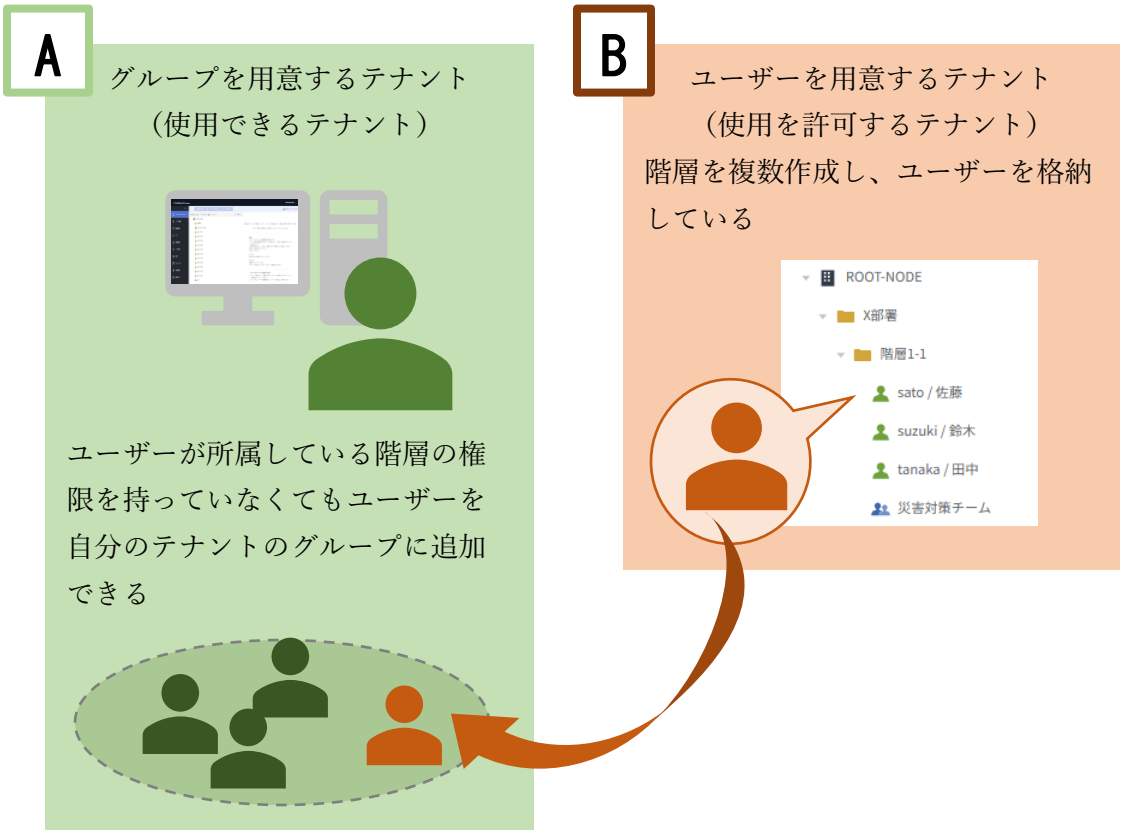




Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

4.3.　企業間通信の管理者のアクセス権限確認を省略する（使用を許可するテナント）

「使用を許可するテナント」側でこの設定を許可すると、使用できるテナント側のグループに対して使用を許可する側のテナントのユーザーを追加・除外する際に、階層のアクセス権限の確認を省略することができます。



※「企業間通信の管理者のアクセス権限確認を省略する」の初期値は OFF です。

＜A テナントの管理者が自分のテナントのグループに追加できる B テナントのユーザー＞

	A テナントの管理者が B テナントの階層の権限を持っている	A テナントの管理者が B テナントの階層の権限を持っていない
ON	グループにユーザーを追加できる	グループにユーザーを追加できる
OFF	グループにユーザーを追加できる	グループにユーザーを追加できない

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

＜注意事項＞

・連携先のテナントに表示されたくないユーザーがいる場合は、本機能を OFF にして階層ごとに権限を付与してください。

＜設定方法＞

使用を許可する（B）テナント側の企業間通信の設定画面で、連携中のテナントの「詳細設定」ボタンをクリックし、テナントとの企業間通信の詳細設定画面で、「企業間通信の管理者のアクセス権限確認を省略する」のチェックをして保存すると有効になります。





Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

4.4. 電話機能の利用を許可する（使用を許可するテナント）

「使用を許可するテナント」側で電話機能の利用を許可すると、ユーザーが参加した他のテナントのグループに参加しているユーザーから Buddycom の電話機能で電話を受けられるようになります。個人情報の取り扱いには十分注意し、設定を行ってください。

Buddycom の電話機能とは、Buddycom コンソールでユーザー情報に電話番号を登録すると、Buddycom アプリから電話アプリを起動し、該当のユーザーに登録された電話番号に電話ができる機能です。

ユーザーの編集方法については、「Buddycom 管理コンソールユーザーガイド基本操作編」をご参照ください。

＜同じグループに参加しているユーザーが Buddycom電話機能から電話ができる＞

	A テナントのユーザーから		B テナントのユーザーから	
	A テナントの ユーザー	B テナントの ユーザー	A テナントの ユーザー	B テナントの ユーザー
ON	電話ができる	電話ができる	電話ができる	電話ができる
OFF	電話ができる	電話ができない	電話ができない	電話ができる

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

＜設定方法＞

使用を許可する（B）テナント側の企業間通信の設定画面で、連携中のテナントの「詳細設定」ボタンをクリックし、テナントとの企業間通信の詳細設定画面で、「電話機能の利用を許可する」のチェックをして保存すると有効になります。





Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

5. 企業間通信の解除

5.1. 連携先の階層から権限を削除する（使用を許可するテナント）

ROOT-NODE 以外の階層に追加した「企業間通信の設定で利用できるユーザー」を削除します。

※ROOT-NODE に設定されている「企業間通信の設定で利用できるユーザー」は、企業間通信の連携を解除すると自動的に削除されます。

※「企業間通信の管理者のアクセス権限確認を省略する」が ON の場合は不要です。

階層を企業間通信の設定で利用できるユーザーの削除をします。





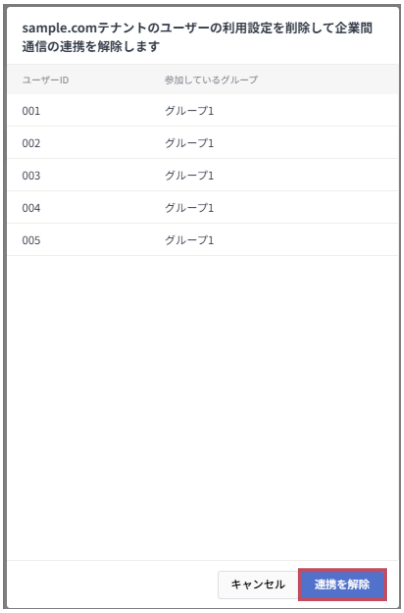
Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

5.2.　企業間通信の連携を解除する（使用できるテナント）

企業間通信の設定画面の「連携を解除」をクリックします。利用しているユーザーの一覧が表示されます。

解除を続行する際は、「連携を解除」をクリックしてください。一覧に表示されているユーザーとグループの紐づけが解消され、連携が解除されます。





Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.

5.3.　企業間通信の連携を解除する（使用を許可するテナント）

企業間通信の設定画面の「連携を解除」をクリックします。即時で連携が解除されます。



連携が解除されると、状態が「未連携(リクエスト受信済)」に変化します。
「連携する」をクリックすると、再度企業間通信状態になります。
「削除する」をクリックすると、リクエストが削除されます。



※連携の解除後に、相手のテナントにて「削除する」クリックした場合も、リクエストは削除されます。

5.4.　企業間通信の連携を解除する（連携中の相手テナントが契約終了した場合）

契約が終了しているテナントと企業間通信をしている場合、ユーザーやグループの編集/削除に失敗することがあります。連携しているテナントに（契約終了）と記載されている場合は、［削除する］ボタンから、連携を解除してください。



―以上―

Copyright © 2026 Science Arts Inc. all right reserved.